

well-being な未来

誰一人取り残さない

幸せな三芳町へ

WELL-BEING WELL-BEING WELL-BEING

「well-being (ウェルビーイング)」とは身体的・精神的・社会的に満たされた状態であることをさします。心身ともに健康で幸せを感じられることが生きるうえで必要だという考え方です。新しい年がすすきな1年になるように、自分自身のスタイルを大切に未来を見つめてみませんか。

新年明けましておめでとうございませう。昨年、暮れに執行された三芳町町長選挙において、四期目を無投票で当選させていただきました。初心に帰り町政進展の上で尽力してまいります。広報みよし新春号は、平成生まれの若人との対談企画です。ダンス、ゴルフ、フルート、イチゴ栽培と、自らの夢に向かってチャレンジ中の4人です。

その瞳は、未来を見つめ、輝いていました。それぞれが様々な困難や課題を持ちながらも、それに立ち向かい、克服せんとする強い意志と明るさを持っていました。「今が充実し、楽しい。」異口同音の答えでした。コロナ後のまちづくりは、一人ひとりの命と暮らしを守り、誰一人取り残さない幸せ (well-being) の実現です。その瞳

トは、彼らの瞳の奥に秘められていました。「夢」「希望」「克己」「挑戦」自分らしい人生と幸せの実現は、「ここにあるように思います。こつした未来にチャレンジする若人が、三芳町の未来を創造します。さあ、私達も未来に向かって歩み始めましょう。三芳町長 林 伊佐雄



念ずれば花ひらく



ハウスの中で大切に育てられているいちご。

「良い作物を食べてほしい」  
安心・おいしい三芳産いちご

農業を継ぐ前は肥料メーカーの営業職としてサラリーマンをしていた鈴木啓介さん。「大変だったけれど営業を通していろいろな農家を見たのは良い経験になった」といいます。町内初のいちご農家として新たな挑戦を続ける鈴木さんにお話を伺いました。

「交通の便が良くて住みやすい町だと思おう」

町長：新しいことにチャレンジするのは大変だったと思います。どのようにして実現までこぎつけたのですか？

鈴木：一番は親の同意が得られたことが実現につながったと思っています。ハウスを建てたりするのにも初期投資がかかるので、いつか決める手になりましたね。

町長：町内にはフルインター化工で、有機農産物の生産・販売・加工を行う法人をつくりたいです。

町長：新しいことにチャレンジするのは大変だったと思います。どのようにして実現までこぎつけたのですか？

鈴木：有機栽培と法人化です。皆さんに安心して食べてもらいために有機JASという認証を取って、国が定めた有機農法を実践したいと考えています。法人化は、有機農産物の生産・販売・加工を行う法人をつくりたいです。

町長：今検討中の「賑わいバザール公園構想」という計画では、スマートIC周辺に道の駅のような施設を整備しようかと考えているところです。活気あふれる町の玄関口にしていきたいですね。

町長：鈴木さんは4年前から町内初のいちご農家を始められていますよね。きっかけは何でしたか？

鈴木：以前は営業の仕事をしていて、6年前に家を継いで農業を始めました。当時はほうれん草と小松菜をメインで作っていたのですが、栽培期間が短い上、それにかかる作業や労力が多くて、売り上げも少なかつたんです。ちょうどその時に有名な種屋さんに会う機会があって、そこで勧められたのがいちごの栽培でした。まだ町内では誰も作っていませんでした。それが決め手になりましたね。

鈴木：スマートICの近くにスーパーや公園がきたら周辺に住む人にとっても便利です。町長：今検討中の「賑わいバザール公園構想」という計画では、スマートIC周辺に道の駅のような施設を整備しようかと考えているところです。活気あふれる町の玄関口にしていきたいですね。

いちご農家  
鈴木啓介さん  
(30)



TOPICS TOPICS TOPICS TOPICS TOPICS



直売所営業中！抽選で5名様にいちごプレゼント  
直売所にぜひお越しください（住所：藤久保718）。今月号のクイズ&アンケートでは、鈴木さんが育てたいいちごを5名様にプレゼントします！詳しくは裏表紙へ。